

### 自然環境にやさしい庁舎

新庁舎は、みどり豊かな庄原市の気候や自然、産業特性、環境エネルギーなどを取り入れた、環境にやさしい仕組みを持っています。地中熱や木質ペレットを熱源とした空調とするほか、外気を積極的に導入し、空調負荷の軽減を図ります。

【庄原の木】  
①市民ホール、②待合ホール、③シンボルツリー、④議場には、庄原市の木材が使われています。

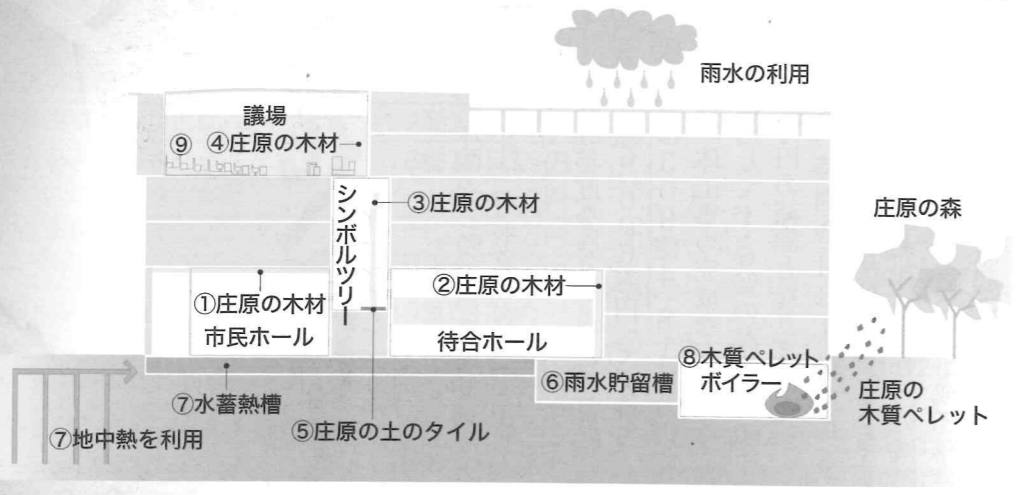
【庄原の土】  
⑤シンボルツリーの床タイルは、この庁舎を建てる時に敷地から出た粘土を利用して作られています。

【庄原の水】  
⑥地下には、雨水を利用するための雨水貯留槽があり、トイレ洗浄水に利用しています。

【庄原の熱】  
⑦敷地周辺の地中熱を利用して庁舎の空調熱源とし、安価な深夜電力により地下ピットを利用した水蓄熱槽に冷温水を蓄えています。この水蓄熱槽は、防火用水としても利用することができます。

⑧地下の機械室には、空調の熱源として利用するための木質ペレットボイラーがあり、庄原の森で育った木材で作った木質ペレットを燃やします。

【リユース】  
⑨議場の家具は、旧庁舎や各支所の議場家具に手を加え、この庁舎で新しくよみがえっています。



# 新庁舎 オープン



## まちづくりの拠点を整備

総務課行政係 ☎0824-73-1123



1階ロビー

市民サービスの向上と事務の効率化を図るため、建設を進めていた市役所新庁舎。各課は3月14日～28日に移転作業を行い、随時業務を開始しました。

新庁舎は、市民に親しみやすく利用しやすい庁舎であること、自然環境にやさしい庁舎であること、などを基本理念として建設しました。新しいまちづくりの拠点となる新庁舎の特徴を紹介します。

### 【新庁舎の概要】

- 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、鉄筋コンクリート造
- 階数 地上6階、地下1階
- 高さ 24.2メートル
- 建築面積 1685.18平方メートル
- 延床面積 7429.47平方メートル

### 親しみやすく利用しやすい庁舎

【まちなみと調和した配置】  
○庁舎の西側は高さを2階に抑え街並みに配慮し、県道に面した東側は6階として市役所の顔づくりをしています。

【わかりやすいゾーニングと動線】  
○執務室と会議室を分けた平面構成と、主な窓口を1・2階に配置することにより、市民が目的の窓口へ容易に行くことができるよう配慮しています。また、議会ゾーンを5階にまとめ、議会の独立性を確保しています。

○北側にエレベーターを2台設け、主な縦の動線としています。  
○西側の主出入口、東側出入口、南西出入口(夜間出入口)の3つの出入口を設け、市民の利便性を高めています。  
【バリアフリーへの対応】

○障害者・高齢者に配慮したエレベーター、段差のない通路、多機能トイレ、窓口カウンターなど、だれもが分かりやすく利用しやすい庁舎に配慮しています。

【防災拠点としての施設整備】  
○非常時には防災対策室に災害対策本部を設置し、災害に対応します。  
○市民ホールは広場と一体的に災害時の救援体制、一時避難場所として利用します。

### 外構工事のスケジュール

本体工事は完了しましたが、旧庁舎の解体・外構工事を引き続き行います。敷地の北西側に広場を設け、駐車場も含めた一体利用が可能なオープンスペースを確保し、多目的な市民利用に対応します。また、周辺街区へ緑を伸ばした木陰のある優しいまちづくりを目指します。

工事の完成は8月末予定です。来庁の際は、出入口などにご注意ください。  
●次の部署は新庁舎に移転しません  
水道課・環境衛生課

### 新庁舎見学会

市民を対象に新庁舎見学会を行います。希望される方は、当日の開始時間までに市民ホールへお越しください。  
4月18日(土)・19日(日)  
①10時～②14時  
※1時間程度の見学会になります。

## 市民の声 地元材の使用に好印象

松島 均さん(口和)

森林資源が豊富な庄原市らしく、シンボルツリーをはじめ地元木材をあらゆる所に使用され、雰囲気の良い感じました。また、エレベーターのそばにトイレがあるなど、どの階も同じパターンで設計され、市民に分かりやすいレイアウトだと思います。旧庁舎や町役場などで使用されていた備品を再利用し、経費の削減に努められている点も感心しました。5階の展望台は市内を見渡すことができ、若者のデートスポットとして利用されたらおもしろいですね。今後、市役所の機能が1カ所に集まったことで各課の連携が良くなり、市民の利便性が向上することを期待しています。

